

2007年10月2日

報道関係各位

ベリングポイント株式会社

ベリングポイント、日本版 SOX 法に対応した 『経営者のための評価支援サービス』の提供を開始

評価基盤の整備、評価計画の策定、評価手続の実施で
経営者の評価リスクをヘッジする

ビジネスコンサルティング大手のベリングポイント株式会社（本社：東京都千代田区、社長：内田士郎、以下 ベリングポイント）はこのたび、金融商品取引法に基づく内部統制報告制度（いわゆる「日本版 SOX 法」、以下「J-SOX」）に対応するための新サービスとして、『経営者のための評価支援サービス』を開始いたします。

『経営者のための評価支援サービス』は、J-SOX が求める経営者による内部統制の有効性評価を確実に実施することを支援するソリューションです。このサービスにより経営者は、重要な欠陥があるにもかかわらず、内部統制は有効であると誤って判断してしまう経営者の評価リスクをヘッジすることを支援します。

	内部統制の実態	評価者の発見能力	経営者の評価	監査人の監査	会社として…
ケースA	○	○ ⇒	有効	適正 ⇒	良い
ケースB	×	○ ⇒	で有効 ない	適正 ⇒	悪い
ケースC	×	×	有効	不適正 ⇒	悪い 非常に

経営者の評価の失敗

【経営者の評価と監査人の監査の関係】

■『経営者のための評価支援サービス』提供の背景

2008年4月施行のJ-SOXでは、経営者が自ら財務報告に係る内部統制の有効性について評価し、報告することを求めています。経営者は、重要な欠陥があればその内容を内部統制報告書において開示します。また内部統制報告書の記載に重要な虚偽記載があれば、監査人より不適正意見を受けることになります。

実際は、この評価作業を経営者一人で実施することは困難であるため、経営者の指揮の下、評価作業を専門的に行う部署（以下 J-SOX 部門）の設置や、内部統制を構築し、評価に必要な文書を整備する各部署の協力が不可欠となります。ところが、内部統制の有効性の評価手法についてはまだ明らかでない点が多くあり、多くの企業では評価に必要なスキルを持つスタッフを十分確保していないのが現状です。

ベリングポイントは、約 100 社の企業への内部統制に関するコンサルティングを通じて得たノウハウに基づき、この度、“経営者による評価リスク”を回避するためのソリューションの提供に至りました。

【経営者の評価リスクとは】

ベリングポイントは、経営者が内部統制の重要な欠陥を看過して誤った評価を行う可能性を“経営者の評価リスク”とし、J-SOX 本番年度において経営者が避けるべきリスクであると考えています。この経営者の評価リスクの原因のひとつに、経営者による評価の実施体制が十分でないことがあげられます。

■『経営者のための評価支援サービス』の特徴

経営者の評価リスクを防止するためには、①経営者の評価基盤を整備すること、②適切な評価計画を策定すること、③評価手続を適切に実施することが必要です。経営者のための評価支援サービスでは、企業の J-SOX 対応の準備状況に応じて、これら 3 つの項目を組み合わせ提供します。

①評価基盤の確認:

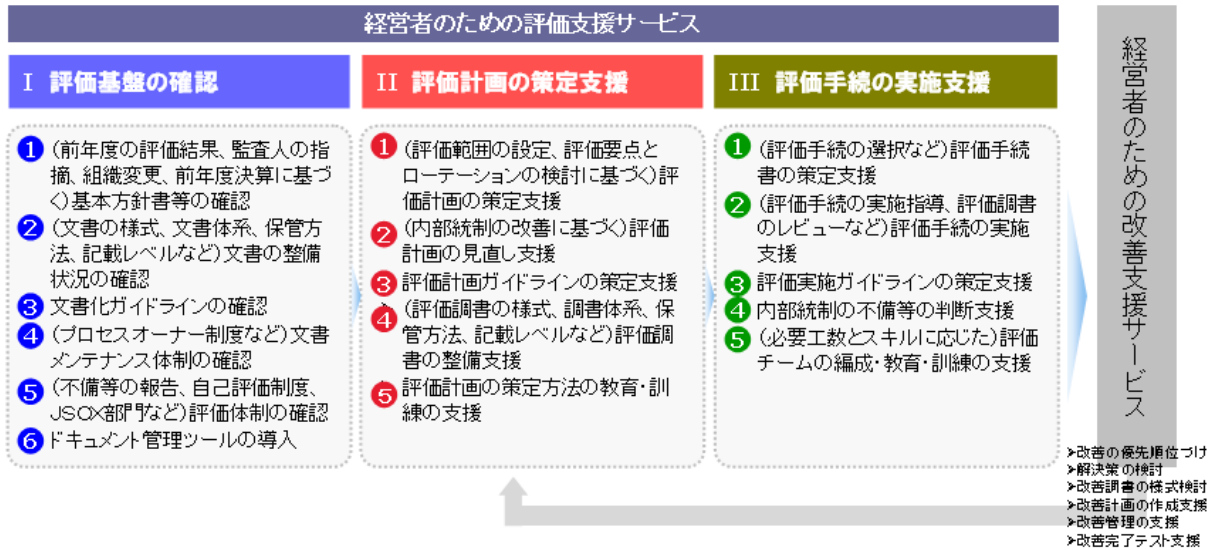
経営者の評価の基本方針書や文書化ガイドラインなど評価にあたって必要な手続書類とリスク・コントロール・マトリクスなど評価の対象文書を 1～3 ヶ月で確認し、評価が実施可能かどうかを診断します。

②評価計画の策定支援:

評価計画の策定、評価計画ガイドラインの策定、評価調書の様式や体系など評価の計画段階に必要な項目を 2～4 ヶ月で支援します。

③評価手続の実施支援:

評価手続書の策定や評価手続の実施指導、評価調書のレビュー、評価実施ガイドラインの策定、内部統制の不備等の判断支援、評価チームの編成・教育・訓練について 3～12 ヶ月で支援します。



【『経営者のための評価支援サービス』体系図】

『経営者のための評価支援サービス』の導入費用は、500万円から想定しており、ベリングポイントでは J-SOX の対象となる上場企業に対して、初年度で 123 億円（うち新規獲得顧客 15 社で 11 億円）の売上を目指します。

本件に関するお問い合わせ先:

プライスウォーターハウスクーパース コンサルタント株式会社 (旧ベリングポイント)
マーケティング

E-mail: consultants.inquiry_mailbox@jp.pwc.com